



医師募集概要

Recruit information for doctors



すべての人に笑顔を。

地域の人々に安心と 安全な医療を提供します。

自己研鑽

自己の能力の向上に務め、
患者さまに誠実な医療を
提供します。

患者奉仕

患者さまの立場にたった
医療サービスの提供に
努めます。

家庭医療

患者さまだけでなく、患者さまの
ご家族の健康も考えられる
家庭医療の提供を目指します。



内科



循環器内科



消化器内科



訪問診療



栄養指導



皮膚科



各種検査



予防接種

当クリニックの取り組み

地域の皆さまが安心して暮らせる総合診療を。

総合診療とは、内科系、外科系にかかわらず、患者さまの抱える問題の大部分に責任を持って対処できる幅広い臨床能力を有する医師や医療スタッフによって提供されるヘルスケア・サービスです。地域の皆さまに、安心して安全な医療を提供していくうえで、外来受診がしやすく、かつ継続的であり、家族や地域とのつながりを重視しなければなりません。草花クリニックでは、そのような視点に立ち、近隣病院の専門医と連携をとり、内科をはじめ整形外科、外科、小児科、精神科などの領域も含めた全人的（生物学的、心理学的、社会学的）なアプローチを重視する診療を目指しております。

総合診療の名医のいる地域へ

急速な医学進歩により臓器疾患別に細分化され、それらの専門性も強まったため、患者さまの症状・疾患に対して、対象外の臓器を診ない医師が多くなっているように感じられます。また専門性の縦割り意識が強い医療では、他の臓器疾患に起因する症状を見落としがちになってしまいます。

草花クリニックに集う医師・医療スタッフは、

「医者であれば患者さまを総合的に診る姿勢が医療には必要」と考え、患者さまに対して、近隣病院の専門医と連携をとりながら、全人的（生物学的、心理学的、社会学的）なアプローチを重視する診療で、人をまるごと診ることのできる「総合診療」をより意識した医療を目指しております。

「食べる」を楽しく、そして健康に。

草花クリニックでは、メタボリックシンドロームをはじめとした生活習慣病の予防や高齢者の皆さま、ご入院中の患者さまにも、いつまでも健康で、健やかに過ごしていただけるよう、「食」に対する取り組みを行っております。

「食から身体を健康に」と考え、当クリニックでは専門の栄養士による「栄養指導」や「特定保健指導」をはじめ、「食」で身体をコントロールしながら、食べる味わいや楽しさを感じていただけるよう、取り組んでいます。食への取り組みは、ご入院中の患者さまにも楽しんでいただけるよう、「四季折々の食事」や「ご当地の郷土料理」など、工夫を凝らした食事を毎月1回ずつご用意しております。

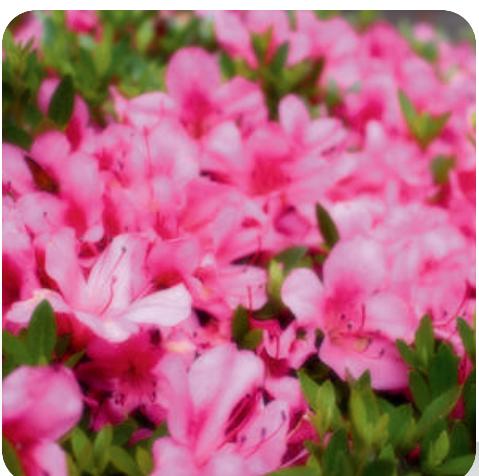


地名でもある「草花」に包まれて

あきる野市の草花という地名にもあるように、さまざまな草花をはじめ自然に包まれたクリニックです。

当クリニックのスタッフが手入れをしている花壇と周辺の環境に自生している四季折々の草花たちが、ご来院される患者さまをお出迎えします。地名の「草花」は、あきる野市の西部から日の出町北部にかけ、標高200~300mの「草花丘陵」があり、その名に因んだ地名とも言われています。

付近には清流 多摩川が流れ、マツをはじめ雑木林や草花に囲まれた自然豊かな場所で、羽村草花丘陵都立自然公園に指定されています。



理事長インタビュー

「関係する、すべての人を笑顔に」

患者の人生に寄り添う医療の追求

— 医師としての歩みをお伺いします

1981年に防衛医科大学を卒業し、大学病院や関連病院で研鑽を積みました。防衛医大は総合診療医の育成を目的の一つとしていて、研修でも全科を回った経験が、今日の私の「かかりつけ医」としての土台になっています。その後、1990年から米国国立衛生研究所に留学し、帰国後は東京大学医学研究所や放射線医学研究所で研究を続けました。

妻の父が経営していた精神科クリニックを引き継ぎ、当院を開設したのは2001年のことです。臨床をやるなら一生をかけるような仕事がしたい、という思いから、一人で運営することを考慮して最終的には19床の有床診療所と現在は、機能強化型在宅支援診療所になりました。病床の不足分は「自宅がベッド」という発想で、当時まだ珍しかった在宅医療で補うことにしました。長年、研究者として培ったオリジナリティへのこだわりから、他にはない形の医療を追求したいという思いもありました。地域の名前を冠したクリニック名には、地域に貢献する公共性を意識し、この土地に深く根ざていきたいという決意を込めました。使命として「すべての人に笑顔を」を掲げ、理念には「自己研鑽」「患者奉仕」「家庭医療」の3つを基軸としています。

— 今後のクリニックの展望について、どのようにお考えですか

現在、当院は外来診療から在宅医療、入院までの一貫した医療で、地域の皆さん的人生に寄り添っています。今後は、さらに地域医療を推進していくために分院展開を進めていきたいです。外来機能を分院として広げることで、気軽に相談できる「かかりつけ医」のモデルを実現したいです。外来は患者さん一人ひとりと向き合うための入り口であり、在宅医療や入院、あるいは高次医療機関への紹介といった継続的な医療のための第一歩です。在宅診療と入院機能は現在のクリニックを拠点に、これからも地域全体の患者さんをサポートしていきます。

地域医療構想を牽引していく医療機関として、地域の総合病院だけでなく、広く東京という「面」で大学病院や専門病院とも連携が取れる体制の構築や、他の地域で地域医療に尽力されている医療関係者との交流にも積極的に取り組んでいきたいと考えています。

— 若手医師の教育にも、大きな関心をお持ちと伺いました

次世代の人才培养も、当院の重要な使命です。2023年10月の副院長（現院長）の着任を機に、これまで手が回らなかった研修医療機関としての機能も強化しています。現在は東京科学大学、東京女子医科大学、杏林大学、防衛医科大学などの総合診療科との連携が実現しました。将来的には、こうした研修プログラムを活用した上で、医学研究にも寄与していくような未来像を描いています。

— お話を聞かれて強い信念や志が伺えますが、医師を目指した理由は何でしょうか

私が医師を目指した理由は、高校時代から抱いていた「正義」という信念にあります。正義を実現できる職業として考えたのが、研究者か医師でした。今は研究者から医師になりましたが、「正義を貫くのは何か?」を突き詰めていった結果がこのクリニックです。最初から有床診療所という規模の大きなものを作ったため、当初は経営面で苦労もしましたが、「最終的には評価されるだろう」と信じていました。

自分が思う正義のために、夢を描き、限界を設けずに挑戦してきました。もう少し自分を開放して、できることをよく考えれば、もっと多くの人が潜在能力を発揮できるのではないか。ですから、生き方や志なども伝えながら若い世代の教育に携わりたいという思いは、これまでずっと持っていました。そうした思いが、先ほど申し上げたような研修機関を目指すことにもつながっています。私の生きた証が残せるとしたら、それはモノではなく、次世代を担う人なのだと考えています。

— 患者さんとの忘れられないエピソードがあれば、教えてください

私が最も嬉しく思うのは、「ここは他の医療機関と違う。寄り添ってくれる。」という患者さんの言葉です。そして、その言葉通り継続して来院してくれること。その言葉と行動が、私が目指す医療への確信を強めてくれ、大きな喜びとなります。

具体的なエピソードとしては、小児専門病院でも原因が分からなかった病気を、私が診断できたお子さんのことです。お母さんは「なぜ小児の専門医でもないのに、分かったのですか」と驚いていましたが、この経験は町医者の印象を変えられるという意味でも嬉しかったです。

その後、その子は成長して看護師になり、「先生の言葉のおかげだよ」と報告してくれました。それまで病気ばかりだったその子に、「医療職になつたらいいよ。そんな恩返しもあるよ」と話したことを覚えていてくれたんですね。命を救うことや病気を治すことだけではなく、人間としての関わりができたことは医師冥利に尽きるというか、私がここで医療をやり続ける意味を実感することができました。

— どのような先生方が在籍されていますか



当院では医師の個性を尊重し、それぞれのスタイルを大切に診療してもらっています。自分の仕事への責任感をしっかりと持つて、取り組んでおられる先生ばかりですね。

近年は、医師のワークライフバランスなども重視されるようになりました。もちろん、それは大切なことです、それ以前に「患者さんをなんとかしたい」という強い情熱が根底にあって、医師という仕事を選んだはずです。当院の先生方には、こうした志を共有できる方が集まってくれていて、心から感謝しています。

— 求める医師像を教えてください

理想とする医師像に向けて努力を惜しまない真面目さと、分からぬことは分からぬと言える正直さを持つ先生です。知らないことを素直に認めることは、なかなか難しいことです。特に医師という立場があれば、尚更でしょう。ですが、そんなプライドは医師の成長を妨げ、患者さんに不利益をもたらすだけです。知らないことは周りから教えてもらって、自分で調べられる人でなければいけません。医療は常に進化しており、知らないことの中に面白さやヒントがあるのです。

真面目に、正直に、そしてプロフェッショナルとしての高い意識を持った医師が集まってお互いを高め合うことで、より良い医療を提供していくと信じています。

院長インタビュー

地域医療のスペシャリストへ。 共に高め合うクリニック

— 医師としての歩みをお伺いします

新潟大学を卒業後、国立国際医療研究センターで初期研修と消化器内科の後期研修を修了しました。その後は将来的に当法人を引き継ぐことを視野に入れ、総合診療科にて指導医クラスまでの研鑽を積みました。7~8年前からは、非常勤医師として当院で訪問診療や外来診療、内視鏡検査などを担当しながら、2023年10月に正式に常勤医として着任しました。

当初は、法人を引き継ぐことは全く想っていなかったのですが、自身が目指す医療と法人のビジョンが重なったことから、現在は後継者として運営に携わっています。



— 今後のクリニックの展望について、どのようにお考えですか

私たちは地域のハブとなる医療機関として、急性期医療以外の分野、特に生活に密着した「かかりつけ医」として機能することを目指しています。外来・訪問診療・病棟機能に加え、デイサービスや訪問看護、訪問ヘルパー、サービス付き高齢者住宅など、法人内で多岐に渡る機能を有していることが強みです。この強みを活かし、地域に深く根ざした医療を提供しています。

そのため、今後は分院展開も検討していますが、あくまで既存の医療圏の中で展開していきます。この地域で選ばれる法人として、ナンバーワンのご支持を獲得することが当面の目標です。

— 求める医師像を教えてください

利益ばかりを追求するのではなく、この地域の患者さんが地域で一貫した医療を受けられる環境を整え、着実に成長を続けることが私たちのビジョンです。

そのビジョンの実現のため、求めているのは「かかりつけ医としての覚悟」を持った先生です。薬だけ処方して時間外は対応しないといった姿勢では、やはり地域に選ばれる存在にはなれません。訪問診療やオンコール対応など、チームで連携しながら患者さんのあらゆる相談に乗り、その人生に深く関わる。そんな総合診療医としての志を共にできる先生と働きたいですね。

また、地域に入り込み、コミュニティとのつながりを大切にする姿勢も重要です。私自身、あきる野は地元ではないのですが、地域に入り込んでいく姿勢の大切さを日々実感しています。将来的には健康イベントや地域での講演会を通じて、「地域の仲間」として信頼関係を築き、その中で独居老人への支援など、医療と福祉の境界を越えた活動も行っていきたいと考えています。こうした活動を一緒に推進してもらえると、大変心強く思います。

ー 理事長先生や常勤の先生はどのようなお人柄ですか

理事長は穏やかな人柄で、患者さんからの信頼が非常に厚い人です。行政や医師会との関係も良好で、25年に渡り、理事長が築き上げてきた信頼の基盤は当法人の大きな財産だと感じます。

常勤の先生方については、理事長が作り出す雰囲気や文化なのだろうと感じる、穏やかでお人柄のよい方が集まってくれています。診療においては医師の裁量を尊重する方針なので、各々が専門性を生かした裁量を大きく取り入れられます。緊急の往診や発熱外来なども快く引き受けていただき、お互いの専門性について活発に相談し合うなど、密な連携が取れています。

ー 研修医療機関としての取り組みについてお伺いします



先日、私が指導医として立ち上げた家庭医療専門医の研修プログラムの第一期生が、無事に修了しました。1年間の研修の中では、健康イベントへの参加をはじめ、ここでしか得られない数多くの実践的な経験を積んでいただきました。

7月からは常勤医として引き続き当院で勤務してくれており、とても頼もしい存在です。

同様に家庭医療専門医を取得したいという先生も、大いに歓迎しています。

クリニックでの研修受け入れは簡単なことではありませんが、教育も法人の大切な文化です。さらに研修体制を整えて、総合診療や家庭医療を志す若手医師が集まるクリニックにしていきたいですね。若い医師が加わることで、自己研鑽の文化が組織全体に浸透し、他のスタッフにも良い影響が期待できます。

将来的な開業を目指す先生には、私がこれまで学んできた経営ノウハウも惜しみなくお伝えするつもりです。共に成長していく仲間をお待ちしています。

事務長インタビュー

温かな人間関係と、志あるチームの魅力

— 理事長先生や院長先生は、どのようなお人柄でしょうか

理事長先生は周囲から深く愛されている方です。理事長を慕って来院される患者さんが非常に多く、一人ひとりとの信頼関係を丁寧に築かれていることが分かります。組織のトップでありながら、末端のスタッフにまで気を配り、積極的に話を聞いてくださる先生です。

院長先生は頭の回転が速く、短時間で的確に物事の本質を見抜く力をお持ちです。周囲に気を配りながらも言うべきことはしっかり言われますし、どちらの先生からも学ぶことが多いです。

お二人に共通しているのは、常に物事を深く考え、患者さんや地域のために日々、尽力されているところでしょうか。医療への深い熱意は、「仕事が生きがい」と感じられるほどです。

— 常勤の先生方のお人柄や、クリニックの雰囲気はいかがですか

理事長先生が明るいお人柄ですので、先生方も自然と明るい方が集まっています。この地域には、今も昔ながらの温かい人間関係が残っていて、診察に来られる患者さんの中には先生との会話を楽しみにしている方もいらっしゃいます。都心と比べて時間の流れがゆったりとしているので、スタッフも患者さんも穏やかで、年齢や立場に関係なく一人の人間として接する関係性が大きな魅力となっています。

また、医師同士がコミュニケーションを取る機会も多く、若い先生がベテランの先生に気軽に相談に行かれる姿もよく見かけます。私はこれまでにいくつかのクリニックで勤務してきましたが、他と比較しても当院の先生方はお互いを尊重し高め合う、非常に良い関係性を築かれていると感じます。学閥などもありません。幅広く診る必要がある総合診療を謳っていますので、異なる専門領域を持つ先生同士が意見を交わし、知識を深める文化が根付いているのかもしれません。院長先生の目指す、総合診療の実践を体現されていると感じます。

— 求める医師像を教えてください

患者さんに寄り添った温かい対応ができる、朗らかな先生が理想です。当院の明るく穏やかな雰囲気に馴染み、患者さんと親身に接してくださる先生に来ていただければ、これほど嬉しいことはありません。

身近な「かかりつけ医」として患者さん一人ひとりの人生に寄り添い続けることが、私たちにしかできない、この地域に求められている役割であると考えています。

募集要項

年収2,000万円以上相談可能
業務内容や働き方は柔軟に相談可能です
自然豊かで環境◎転居される先生も歓迎！
中央線、南武線、八高線沿線にお住いの先生も通勤OK

求人条件(全科共通)

就業場所 : 医療法人社団豊信会 草花クリニック

募集科目 : 一般内科（内科の専門領域不問）

勤務日数 : 週5日（平日のみ可）

勤務時間 : 平日09:00～18:00

土曜09:00～18:00

休憩時間 : 休憩時間：60分（概ね 13:00～14:00）

福利厚生・支援制度(全科共通)

契約期間の定め : あり（勤務開始日から12ヶ月）更新上限有（通算契約期間の上限なし）

休暇 : 夏季休暇、年末年始休暇、有給休暇

夏季休暇（6月21日～10月20日までの間で3日間）

年末年始休暇（12/30～1/3）

有給休暇（法定通り）

退職金 : 要確認

各種保険 : 雇用保険、労災保険、健康保険、厚生年金

赴任手当 : あり（引っ越し手当として上限50万円まで）

住宅手当 : あり（上限10万円まで支給の相談可）

通勤手当 : あり（全額支給＊秋川駅・福生駅から往復タクシー通勤可能）

時間外手当 : 年俸に含む

学会参加 : あり（年2回まで＊国内に限り宿泊費、交通費支給あり）

定年制度 : あり、65歳（再雇用制度の有無：有（非常勤にて再雇用））

試用期間 : 3ヶ月（試用期間中の労働条件変更：なし）

時間外勤務 : ほぼ無し

固定残業代 : なし

給与〆支払日 : 20日締め、当月27日支払い

受動喫煙対策 : あり（施設内における全面禁煙の実施）／喫煙室の設置（無）

自己都合退職 : 3ヶ月前までに申し出ること

その他の : 駐車場あり（無料駐車場あり）

業績賞与あり

大学医局 関連なし

募集要項詳細

【常勤】▼一般内科 新規開設予定クリニックの管理医師候補

就業場所	： 医療法人豊信会 草花クリニック
募集科目	： 一般内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科 他内科系
勤務開始	： 随時
募集背景	： 新規開設クリニックを計画中（近隣予定、無床）管理医師候補を募集します 就任後1年程度は草花クリニックにて勤務、その後新規クリニックの管理医師として着任いただきます
勤務日数	： 週5日 *土日休み可
休日	： 日祝
オンコール	： 応相談（週1回程度、当番制 *なしも相談可）
勤務内容	： （雇い入れ直後）一般内科医師業務全般 （変更の範囲）なし 外来診療 担当コマ数：8～10コマ 外来患者数：50～60名/コマ（一人当たり20名程度） 診療体制：3～4診 主な疾患：生活習慣病、コモンディジーズ 訪問診療、病棟管理 応相談
基本給与	： 2,000～2,200万円程度 オンコール手当別途検討 管理医師就任後は管理医師手当別途検討
その他の	： 内科系専門医（歓迎） 医師会の休日当番あり *無し相談可 専門外来は要相談

【常勤】▼訪問診療 体制強化、訪問診療拡充のため募集です。現在は常勤医が外来と訪問診療を兼務しております。将来的に訪問診療の統括を行ってくれる先生ですと尚歓迎いたします

就業場所	： 医療法人豊信会 草花クリニック
募集科目	： 訪問診療（一般内科、一般外科、等）
勤務開始	： 随時
勤務日数	： 週4～5日
休日	： 日祝 ※祝日勤務無し
勤務内容	： （雇い入れ直後）訪問診療業務全般 （変更の範囲）なし 訪問診療 担当コマ数：8～10コマ/週 担当患者数：5～6件程度/コマ 訪問体制：医師+事務兼ドライバー（2名体制） 訪問先：居宅100名、施設70弱名（有料老人ホーム、サ高住） 担当数は相談の上決定します エリア：日の出町、あきるの市内等、おおむね5km圏内
オンコール	： 応相談 *なしも相談可 担当頻度：週1回程度（曜日固定） 出動頻度：1～2件程度／年（土曜午後～月曜朝は当直医対応） 電話頻度：オンコール用の電話に稀に有（9割は訪看に入電） 待機場所：自宅 看取り：18時以降は原則翌朝対応 手当：検討可
基本給与	： 1,600～2,000万円 <目安>週4日1,600万円～週5日1,800万円～ *オンコール手当別途検討
その他の	： 外来診療も相談可 専門医であれば尚良し プライマリケア認定医・指導医の取得可能

非常勤① 内科系・外科系

募集診療	: 内科系・外科系
勤務開始	: 隨時
募集科目	: 訪問診療(内科系・外科系)
勤務内容	: 訪問診療(個人宅) 1日10件程度、1コマ5~6名(移動範囲によります)
勤務曜日	: 月・火・水・金・土 ※曜日応相談 ※祝日勤務なし
勤務時間	: 09:00~18:00(休憩60分)
給与条件	: 90,000円 ※歩合あり:11件以上は日給10万円
交通費	: あり(上限10,000円) 公共の交通機関の場合:実費支給 *最寄駅からのタクシー利用可 自家用車の場合:通勤距離で規定に則り支給、高速代支給可
その他	: 訪問診療経験者が望ましい

非常勤② 一般内科

外来診療	: 一般内科
開始時期	: 隨時
募集科目	: 一般内科
勤務内容	: 外来診療(20名程度/コマ) 健康診断(0~15件程度/日) 予防接種 <補足> · 発熱外来対応あり(感染防止の防具あり) · 健康診断:問診・聴打診、所見入力、結果説明 · 予防接種(主に、インフルエンザやコロナワクチンの接種) ※予防接種は医師が接種
勤務曜日	: 月・水・金・土(1、3、5週のみ)※曜日応相談 ※半日勤務可
勤務時間	: 09:00~18:00(休憩60分) · 半日の場合 9:00~13:00 14:00~18:00
給与条件	: 80,000円 ※歩合あり:1コマ21名以上 インセンティブあり
交通費	: あり(上限10,000円) 公共の交通機関の場合:実費支給 *最寄駅からのタクシー利用可 自家用車の場合:通勤距離で規定に則り支給、高速代支給可
その他	: 放射線技師不在のため、レントゲン撮影・CT検査の撮影ボタンを医師に 対応して頂きます。 ご案内のセッティングまでは、当院スタッフが対応致します。 画像読影に関しては、撮影した医師が基本行い、問題なければ1次読影に なります。 判断に迷われるときなどは、他の医師に相談が可能です。

あきる野市について

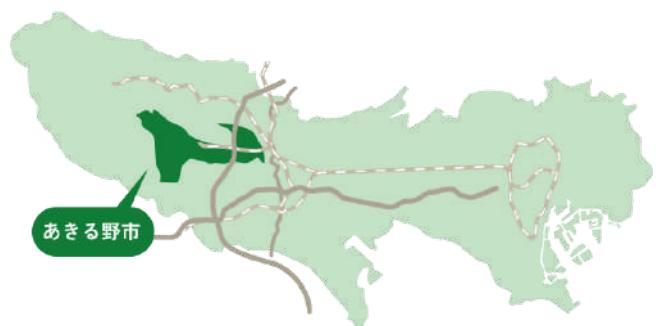
都心から60分。東京都にある大自然

東京都あきる野市は、都心から60分、東京都内でありながら豊かな自然が広がる人口約79,000人の街です。

市西部に位置する山地には、秋川、養沢川、盆堀川などが流れ、その中でも秋川渓谷として有名な秋川は、多摩川の支流の中でも最大といわれています。

自然の恵みを生かした農業が盛んで、とうもろこしなどの特産品もあります。

東京サマーランドのような大型レジャー施設や温泉もあり、四季を通じて魅力的な地域です。



子育ても生活も穏やかに暮らしやすい

保育園、幼稚園、学校が充実しており、高校生までの医療費無償化など、子育てしやすい環境が整っています。

ショッピングモールなど商業施設もありますが、スーパーも周辺にあるため日々の買い物にも困りません。

自然を満喫したりレジャーを楽しんだり、休日を楽しむには事欠くことがないでしょう。

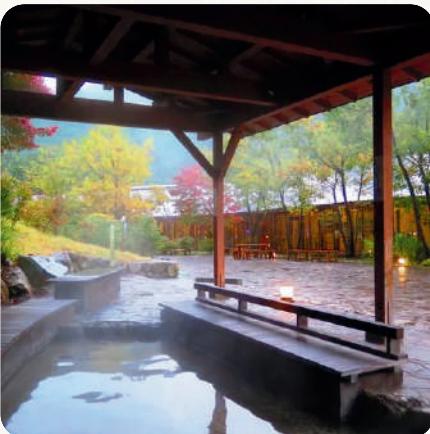


秋山渓谷と紅葉





東京サマーランド



秋川渓谷 瀬音の湯



二宮神社秋季例大祭

高齢化が進むエリアで求められる医療体制

若い世代の定住や移住促進を行っていますが、あきる野市の人口は高齢化が進んでおり、2024年1月時点の高齢化率は30.6%と、東京都の市部全体と比較しても高い水準にあります。

この数値からも医療や介護サービスの需要が増加の一途である事は明確です。

高齢者の尊厳ある生活と健康、包括的なQOLを維持するため多様化する医療・介護ニーズへの対応が求められます。



多摩エリアの進学校

自然も多く、おおらかにのびのびとした環境で子育てできる多摩エリアですが、通学圏内のエリアには教育レベルの高い進学校が複数あり、子どもの将来を見据えた際に選択肢の幅を狭めません。

東京都立高校の「御三家」のうち国立高校は多摩地域に位置するトップレベルの進学校です。



国立高校



立川高校



国分寺高校

施設概要

名 称：医療法人社団豊信会 草花クリニック
住 所：〒197-0802
東京都あきる野市草花2724
開 設：2001年
病 院 長：下村 曜
診 療 科 目：診療科目：内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、皮膚科
ア ク セ ス：JR青梅線「福生駅」からバスで15分程度
カ ル テ：電子カルテ（エムスリーデジカル）レセプトコンピューター（ORCA）
施 設 H P：<https://www.kusabanaclinic.jp/>
病 床 種 別：19床（医療療養病床19床）
宿日直許可：取得済（時間帯：土18:00～月7:00）
医 療 機 器：マルチスライスCT（16列 AI搭載）、X線一般撮影、経鼻内視鏡、大腸ファイバー（FUJI）、超音波診断装置（心エコー、腹部エコー、頸部エコー）、12誘導心電計、血算生化学測定装置、血ガス測定装置、ポータブルエコー動脈硬化診断装置、ホルター心電計（外注 Heart Noteを使用）、リハビリ機器、予約システム（GMO）

診療実績（2025年9月現在）

<外来>

1日平均外来患者数：約89.7人
(新規患者比率7%)

<病棟>

1日平均入院患者数：17人
病床稼働率：89.2%

<訪問診療>

登録患者数：169人
訪問先割合：個人宅104件 施設65人程度
年間看取り件数：23人（2024年実績）

医師体制：（2025年9月現在）常勤 4名／非常勤 13名

看護師体制：（2025年9月現在）正看護師9名／准看護師2名

その他体制：（2025年9月現在）

介護士	常勤 4名	非常勤 5名
理学療法士	常勤 6名	非常勤 2名
作業療法士	常勤 3名	非常勤 1名
管理栄養士	常勤 1名	

関連事業所



草花クリニック
訪問看護ステーション



あきる野シニアハウスくさばな
ヘルパーステーションくさばな
デイサービスセンターくさばな

連携訪問診療

- ・あずみ苑平沢
- ・あずみ苑青梅
- ・あずみ苑羽村
- ・あきる野翔裕館
- ・太陽の家

連携医療機関

- ・東京科学大学病院
- ・東京女子医科大学病院
- ・聖マリアンナ医科大学病院
- ・杏林大学医学部附属病院
- ・防衛医科大学校病院
- ・国立研究開発法人国立国際医療センター
- ・公立阿伎留医療センター
- ・市立青梅総合医療センター
- ・公立福生病院



RAKUSAI諏訪・近藤
MOBILE : 080-4090-1827
E-mail : rpo@mstage-corp.jp